

ネオパン 400 PRESTO (120)

NEOPAN 400 PRESTO (120)

1. 特長及び用途

ネオパン 400 PRESTO (120) は、ISO 400 の高感度黑白写真用ネガティブフィルムです。

ハロゲン化銀結晶の微粒子化と、光吸収効率を大幅に向上する技術及びバック面に導電性ポリマーを含有させる技術の導入により、次のような性能を発揮することができます。

- 現像効率の向上により増感処理性が改善され、より短い現像時間で優れた増感効果が得られます。
- きめの細かい粒状とシャープネスの向上により立体感のある高画質が得られます。
- スタチックマーク発生に対する安全性及び、カメラ内でのフィルム走行性が向上しました。

その結果、このフィルムは、一般用だけでなく、暗い場所や、高速動体など、特殊な条件を含む幅広い撮影条件下でも対応がとれ、報道、その他のプロフェッショナル用途にも威力を発揮します。

2. 写真感度 (露光指数)

ISO 400/27°

3. 感色性

オルソパキロマチック

4. フィルムのサイズ、ベース材質及び厚さ

120	}	6 × 4.5cm…	16 枚 (カメラによっては 15 枚)
		6 × 6cm …	12 枚
		6 × 7cm …	10 枚
		6 × 9cm …	8 枚

TAC (トリアセテート) ベース 0.104mm厚

5. 露光ガイド

撮影には露出計の使用をお勧めします。

- 露出計が使用できないときには、次表を参考にしてください。

(1) ISO 400 での標準撮影の場合

	快晴時の海・山・雪景色	快 晴	晴	明るい曇	曇・日陰
絞 り	f/22	f/16	f/16	f/11	f/8
シャッター速度 (秒)	1/500	1/500	1/250	1/250	1/250

(2) EI 1600* での増感撮影の場合

	夜間の家庭室内	夕 景	夜 景	舞 台		室内スポーツ
				通常の場合	明るい場合	
絞 り	f/2.8~4	f/4~5.6	f/2.8~4	f/4	f/8	f/2.8~5.6
シャッター速度 (秒)	1/60	1/125	1/60	1/125	1/125	1/250

* EIは露光指数 (Exposure Index) のことで、カメラまたは露出計のISO感度セットを、この数値に合わせます。

● 相反則不軌特性

シャッター速度が1/2秒より短い場合は補正の必要はありませんが、1秒以上の場合は以下の補正をしてください。

露光時間 (秒)	
1	1/2 絞り開く
10	1 絞り開く
100	2 絞り開く

フラッシュ (ストロボ) 撮影

● シャッター速度

フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用する場合、個々のカメラで指定されたシャッター速度でフラッシュ撮影を行ってください。レンズシャッターのカメラで撮影する場合は、シャッター速度を変えることができます。

● 絞り

下記の式により算出される値に合わせてください。

$$\text{絞り} = \frac{\text{ISO 400 のときのフラッシュのガイドナンバー}}{\text{フラッシュから被写体までの距離 (m)}}$$

- 調光フラッシュを使用する場合は、写真感度セットダイヤルを (EI) 400 にセットし、それぞれのフラッシュに定められている絞り値を使用してください。

いずれの場合も、主要被写体の周囲の反射などによって露光量が変わることがあるため、使用するフラッシュの使用説明書の指示に従ってください。

- フィルターを使用する場合は、下表により露光量(シャッター速度×絞り)を補正してください。

補正された露光量 = フィルター未使用時の適正露光量 × 下表のフィルター露光倍数

富士フィルター		SC-39	SC-48	SC-56	SC-60
JIS		SL-39	SY-48	SO-56	SR-60
光源の種類		無色	黄	だいたい	赤
フィルター	昼光	1.0	2.0	4.0	8.0
露光倍数	タングステン電球	1.0	1.5	3.0	6.0

6. セーフライト

原則として全暗黒下で取り扱います。セーフライトを必要とする場合には、富士セーフライトガラス SLG-4 (暗緑色) に20W電球を使用し、少なくとも1m以上離れた所で現像が終了する直前にできる限り短時間で使用してください。

7. 現像処理

(1) 現像

現像ムラを防ぎ、均一な仕上がりを得るために最初の1分間は連続かくはんを行い、その後は、1分ごとに5秒間のかくはんを繰り返してください。

● 標準現像・増減感現像処理条件 (小型丸タンク現像)

各種現像液での写真感度・現像温度及び現像時間の関係は次のとおりです。

単位：分

現像液	現像温度		18℃	20℃	22℃	24℃	26℃
	EI*	現像時間					
スーパープロドル(SPD)	400	5	4 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	3	—	—
	800	7 ³ / ₄	5 ³ / ₄	4 ³ / ₄	4	3 ¹ / ₂	—
	1600	11	9	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	—
SPD (1:1) **	400	8 ¹ / ₂	7	5 ³ / ₄	4 ³ / ₄	4	—
	800	11 ¹ / ₄	9 ¹ / ₄	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	—
マイクロファイン	200	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₄	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	—
	320	10	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₄	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₂	—
マイクロファイン (1:1) **	320	12	10 ¹ / ₂	9 ¹ / ₄	8 ¹ / ₄	7 ¹ / ₄	—

(当社以外の各種現像液を使用した場合) 単位：分

現像液	現像温度		18℃	20℃	22℃	24℃	26℃
	EI*	現像時間					
D-76	250	7 ³ / ₄	6 ¹ / ₂	5 ¹ / ₂	4 ¹ / ₂	3 ³ / ₄	—
	400	9 ¹ / ₄	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	—
	800	11 ¹ / ₂	9 ¹ / ₂	7 ³ / ₄	6 ¹ / ₂	5 ¹ / ₂	—
D-76 (1:1)**	400	11 ¹ / ₂	9 ³ / ₄	8 ¹ / ₄	7	6	—
Microdol-X	200	10	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₄	6	5 ¹ / ₄	—
	400	12	10	8 ¹ / ₂	7	6	—

現像液	現像温度		18℃	20℃	22℃	24℃	26℃
	EI*	現像時間					
HC-110 (B希釈)	400	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	3 ³ / ₄	3 ¹ / ₄	—
	800	9	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	—
	1600	14 ¹ / ₂	12	10	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₄	—
T-MAX Developer	400	6 ³ / ₄	6	5 ¹ / ₄	4 ³ / ₄	4 ¹ / ₄	—
	800	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₂	5 ³ / ₄	5 ¹ / ₄	—
	1600	11 ¹ / ₂	10	8 ³ / ₄	7 ³ / ₄	7	—
T-MAX RS Developer	400	6 ¹ / ₂	5 ¹ / ₂	4 ³ / ₄	4	3 ¹ / ₂	—
	800	8 ¹ / ₄	7	6	5 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	—
	1600	11 ¹ / ₂	10	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	6 ¹ / ₂	—
Microphen	400	5	4 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	3	—	—
	800	7	5 ³ / ₄	5	4 ¹ / ₄	3 ¹ / ₂	—
	1600	10	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₄	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₄	—
ID-11	400	8	7	6 ¹ / ₄	5 ¹ / ₂	5	—
	800	9 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	6 ³ / ₄	6 ¹ / ₄	—
	1600	13 ¹ / ₂	12	10 ³ / ₄	9 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂	—
Acufine	400	4	3 ¹ / ₄	—	—	—	—
	800	6	4 ³ / ₄	4	3 ¹ / ₄	—	—
	1600	8 ¹ / ₄	7	6	5	4 ¹ / ₄	—

なお、深タンクを使用する場合は、小型丸タンクの現像時間を5～10%延長して現像処理してください。

* EIは露光指数 (Exposure Index) のことで、カメラまたは露出計のISO感度セットをこの数値に合わせます。

** (1:1) は原液1部に対し、水1部を加えて希釈する場合は示します。

● 処理能力と現像時間 (小型丸タンク現像: 20℃)

単位：分

現像液	累積処理本数	処理能力									
		1本	2本	3本	4本	5本	6本	7本	8本	9本	10本
SPD (1L)	10本	4 ¹ / ₄	4 ¹ / ₄	4 ¹ / ₄	4 ¹ / ₂	4 ¹ / ₂	4 ³ / ₄	4 ³ / ₄	5	5	5 ¹ / ₂
マイクロファイン (1L)	8本	8 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂	9	9	9 ¹ / ₂	9 ¹ / ₂	10	10 ¹ / ₂	—	—
D-76 (1L)	10本	7 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	7 ¹ / ₂	8	8	8 ¹ / ₂	8 ¹ / ₂	9	9	9 ¹ / ₂

● 標準現像処理条件 (深タンク現像)

単位：分

現像液	現像温度		22℃	24℃	26℃	28℃
	EI	現像時間				
ミニドルファイン*	400	8 ¹ / ₄	6 ¹ / ₂	5	4	—

* ミニドルファイン-R (補充液) にDPパピナルC-S (スターター) を加えてつくります。

(2) 停止

停止液には富士酢酸 (50%) 30mL/L水溶液 (富士FS-1) をお勧めします。停止液の温度を15～25℃に保ち、フィルムを20～30秒間十分にかくはんしながら浸してください。

(3) 定着

定着液には、**スーパーフジフィックス-L**をお勧めします。定着時間の標準は、15～25℃で下記の通りですが、フィルムが透明になるまでの時間の2倍を必要とします。なお、定着ムラや定着汚染を防止するため、フィルムを浸してから30秒間は連続かくはんしてください。

定着液	種類	定着時間
スーパーフジフィックス-L	迅速酸性硬膜定着液	5～10分

(4) 水洗

15～25℃の流水で**20～30分間**水洗を行ってください。短時間で水洗を終らせたいときには、**富士QW**（水洗促進剤）の使用をお勧めします。この場合の水洗時間は、予備水洗（30秒）、富士QW浴（1分）、水洗（5分）です。

(5) 乾燥

水洗完了時にスポンジなどでフィルム両面の汚れをぬぐい、ドライウエル（水切り剤）200倍液に約30秒間浸し、そのまま乾燥すればムラのないきれいなフィルムに仕上がります。自然乾燥の場合には通風のよいほこりの少ない場所で行ってください。

なお、画像変色の原因となる酸化性ガスから大切なネガ画像を保護するため、**Agガード**処理をお勧めします。ドライウエル浴のかわりに使用してください。

8. 自動現像機処理条件

吊り下げ式自動現像機の参考現像処理条件

定着液	EI	現像温度	現像時間**
ミニドールファイン*	400	24℃	7分

* ミニドールファイン-R（補充液）にDPパピナルC-S（スターター）を加えてつくります。

** 現像機のかくはん条件、循環条件などにより、仕上がりが左右されることがありますので、あらかじめテストを行って現像時間を決めてください。

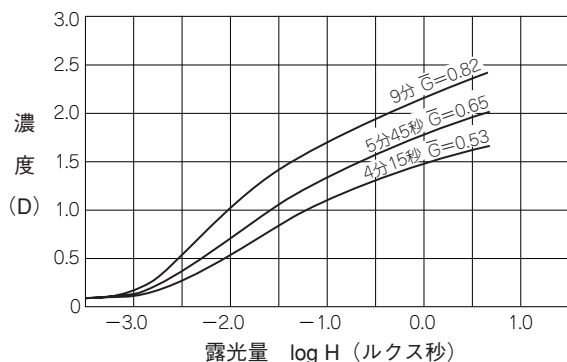
9. 現像処理済フィルムの保存

現像処理済フィルムは、通気性の良い乾燥した冷暗所に、次のような条件で保管することをお勧めします。

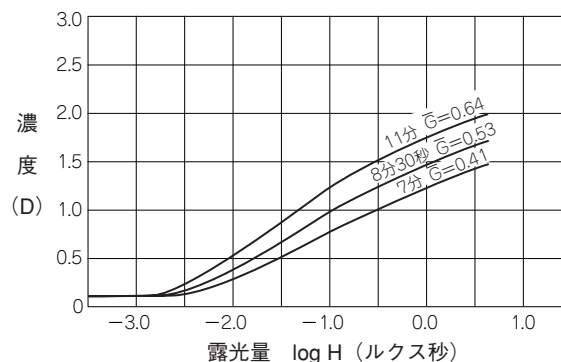
- 短期保存：温度 25℃以下，相対湿度 30～50%
- 長期保存：温度 10℃以下，相対湿度 30～50%

10. 特性曲線

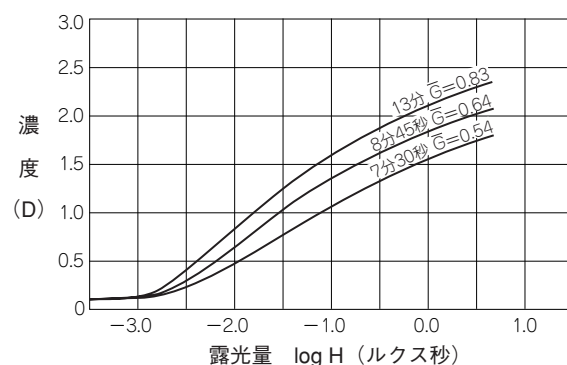
処理：（スーパープロドール），20℃（小型丸タンク）



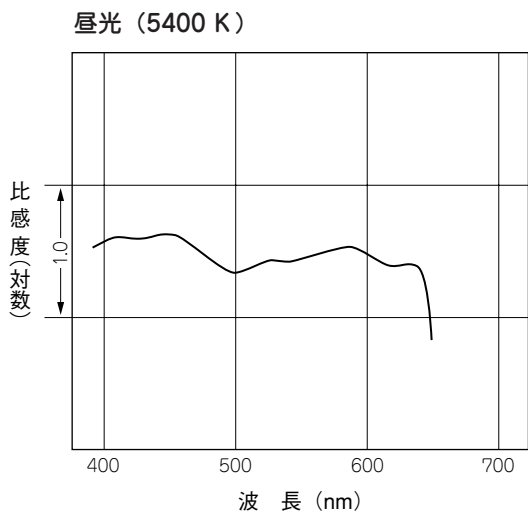
処理：マイクロファイン，20℃（小型丸タンク）



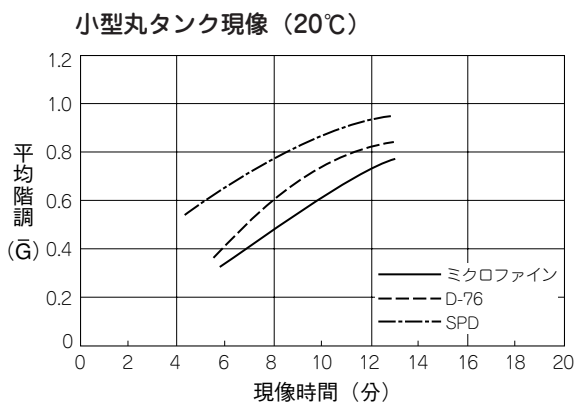
処理：D-76，20℃（小型丸タンク）



11. 分光感度曲線



12. 現像時間 - \bar{G} 曲線



注 この資料に記載されているデータ類は、当社で通常実施している試験による結果を表示するものです。製品の改良によって、これらの特性は予告なく変更されることがあります。

FUJIFILM

富士フイルム株式会社 イメージング事業部

富士フイルムイメージング株式会社 営業本部 プロフェッショナル営業部

富士フイルムイメージング株式会社

東京本社 / 〒106-8620 東京都港区西麻布 2-26-30 富士フイルム西麻布ビル
 大阪支社 / 〒541-0051 大阪市中央区備後町 3-5-11
 北海道支社 / 〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西 4-2 札幌三井ビル別館 3F
 東北支社 / 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命ビル 7F
 名古屋支社 / 〒461-0002 愛知県名古屋市中区代官町 35-16 第一富士ビル 6F
 九州支社 / 〒815-0031 福岡県福岡市南区清水 2-20-6

TEL 東京 (03)5962-7220
 TEL 大阪 (06)6205-6411
 TEL 札幌 (011)241-7162
 TEL 仙台 (022)265-2123
 TEL 名古屋 (052)930-9800
 TEL 福岡 (092)541-1199

商品コード :

Ref. No. : 163AR0121A (神Q-07-7-FP)